

“優しく、強く、愛しい人”の育成

～ R6 全国学力・学習状況調査の結果から ～

本年4月18日に3年生が実施した「全国学力・学習状況調査」の結果が発表され、全国や静岡県の結果が新聞等に掲載されました。焼津市の調査結果の概要をお知らせします。

中学校版



■■ 国語・数学の学習について ■■

【国語】「国語が好き」県比+3.6P！

実生活でのコミュニケーションにつながる『話すこと・聞くこと』の力が身に付いています。

○学力調査は、数学が全国や県と比べてよい結果でした。

○お子様に学力調査問題等を配付しましたのでご確認ください。

『話すこと・聞くこと』の領域で、話し合いの場面の問題がありました。その中の「質問の意図」や「資料の活用」を問われる問題で、焼津市の生徒は全国よりも高い正答率でした。このような力は、実生活でも、他者とのコミュニケーションの場面で役立ちます。学校では、今後も生活につながる力を伸ばすよう努めます。

「知識・技能」の「情報の扱い方に関する事項」では、発言の中の何が「意見」で何が「根拠」かを捉えることに課題が見られました。意見と根拠の関係を理解することは、文章を正確に読み取ったり、表現したりする際の重要な力となります。授業の中で、「結論だけでなく、理由や根拠を捉える」指導を意識していきます。

また、問題形式では「記述式」に課題が見られました。日ごろから「自分の考えを整理して、それを書くこと」を意識した授業を行っていきます。

家庭では、「自分の考えを整理して表現する」ための語彙力・表現力のもととなる「読書」や「言葉によるコミュニケーション」を日常の生活の中で意識していただきたいと思います。

【数学】「数学が好き」全国比+3.9P！ 基礎的・基本的な力が身に付いています。数学を実生活と結び付けて活用する意識をもとう。

数学は、『数と式』『図形』『関数』『データの活用』の4領域全てにおいて、全国よりも高い正答率で好結果でした。また、問題形式でも「選択式」「短答式」「記述式」のいずれも全国よりも高い正答率でした。しかし、「選択式」や「短答式」の正答率と比べて、「記述式」はほぼ2分の1の正答率で、課題を残す結果となりました。

『数と式』『図形』『関数』『データの活用』の4領域全てにおいて、正答率が高く、「基礎的・基本的な知識・技能」は身に付いていると考えられますが、問題解決の過程を数学用語や数学的な表現を用いて説明することに課題がみられました。

『データの活用』の領域では、自分が問題解決のためにもとにした理由や根拠を数学的な表現を用いて説明することに、難しさがあったようです。同じように、『関数』の領域では、問題に取り上げられた事象をグラフや式などと結び付けて解釈し、自分が考えた問題解決の方法を、数学的な表現を用いて説明することが難しかったようです。

焼津市の多くの生徒が、「数学の授業は大切だと思いますか」の問いに肯定的に回答しています。一方で、「数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」の問いに対しては、全国よりも低い結果でありました。生徒が実生活と数学との関わりを実感できる授業をこれまで以上に意識して取り組んでいきたいと思います。

□□ 家庭・学校・地域…安定した生活の様子がうかがえます □□

1 家庭生活

家庭での基本的な生活について、「朝食を毎日食べている」が92.2%、「毎日、同じくらいの時刻に起きている」が92.0%という結果で、焼津市では基本的な生活習慣が身に付いている生徒が多いことが分かります。

家庭学習については、「平日1日の家庭学習が2時間以上」が39.5%と、全国平均を上回りました。一方で、「休日1日の家庭学習が2時間以上」は全国平均をやや下回りました。家庭学習の時間が長いことが、そのまま学力調査の好結果に結びつくものではなく、むしろ、親や教師など周りの人に言われて家庭学習に取り組む生徒よりも、自分の意志で必要な学習を考えて行動している生徒の方が、正答率が高いことが分かっています。

ご家庭では、お子さんが、時間の使い方に関して自分自身で考え、判断し、行動するなど、自立していくための手立てや声かけを大切にしてください。

2 学校生活・授業

学校生活については、「学校に行くのが楽しい」が86.0%、「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある」が90.9%です。

また、「困りごとや不安がある時、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」は68.1%という結果でした。今後も、これまで以上に教職員が生徒一人一人を大切にしたい声かけや支援に努めてまいります。

生徒の学校や教職員への信頼は、学校における教職員の日々の取組はもちろんですが、それに加えて、保護者の皆さんが学校生活を肯定的に捉えて、お子さんに接して下さることで、より高まります。お子さんが、日々安定した学校生活を送るために、学校と家庭が連携・協働し、同じ方向に向かっていくようお願いします。

また、「PC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用した」は、全国の31.0%に対し、焼津市は58.9%とほぼ2倍でした。また、「週3回以上」を加えると90.4%と非常に高い割合で、焼津市の学校の授業ではICT機器を積極的に活用していることが分かります。

3 社会（地域）生活

「地域や社会をよくするために何かしてみたい」は78.9%と、全国と比べて+2.8Pという結果でした。これは、毎年、小中共に同様の結果であり、焼津市の中学生は地域との結びつきが強いことが分かります。

また、「人が困っているときは、進んで助けている」は91.3%、「人の役に立つ人間になりたいと思う」が95.4%と、多くが肯定的に答えており、進んでよい行いをしよう、周りの人と積極的に関わっていこうとする様子がうかがえました。

お子さんにとって、家庭や学校という限られた場だけでなく、より多くの人とふれ合い、様々な考え方を吸収することは、成長する上でとても大切です。地域の方々からも積極的に学ぶ姿勢が、お子さんの成長をより促進します。



□■□ 確かな学力を身に付けるために必要なことは… □■□

1 基本的な生活習慣

右の表「①朝食を毎日食べているか」の質問に、「している」と回答した生徒の国語の正答率は60.6%で、「全くしていない」と回答した生徒の50.8%と比べて、9.8P 高いことが分かります。

「②毎日同じくらいの時間に寝ている」の質問に「している」と回答した生徒の数学の正答率は58.7%で、「全くしていない」の32.7%と比べて、26.0P も高いことが分かります。

「朝食を毎日食べる」「毎日同じくらいの時間に寝たり、起きたりする」など基本的な生活習慣が身に付いている生徒は、学習内容がきちんと定着している傾向にあります。その際、親など周りの人から言われて行動するのではなく、自分から行動することが大切です。

※ 棒グラフは左から順に以下のとおりです

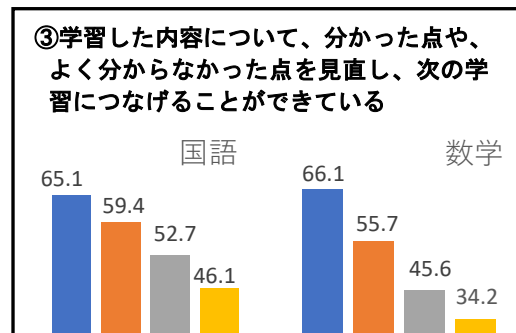
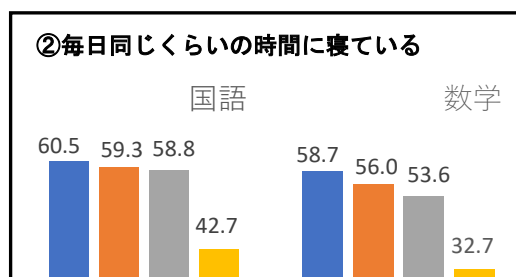
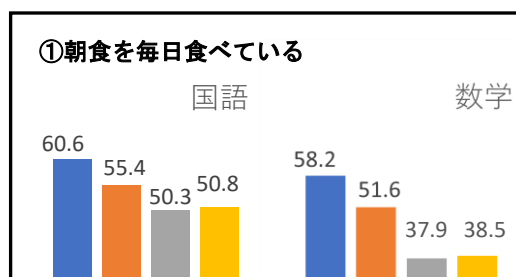
○当てはまる(している)

○どちらかと言えば当てはまる(している)

○どちらかと言えば当てはまらない(していない)

○当てはまらない(していない)

※ 棒グラフの上の数値は平均正答率です(%)



2 学習の振り返り

「③学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」では、「当てはまる」と答えた生徒が、「当てはまらない」と答えた生徒に比べ、国語で19.0P、数学では31.9Pと、大きな差がありました。日々、自分の学習を振り返り、次の学びにつなげている生徒は、学習内容が定着している傾向にあります。

学校では、授業の中で単元の終わりなどに学習内容をまとめたり、自分の学習を振り返ったりする時間を設けています。その時間に分かったことを確認し、分からなかったことを明らかにして復習しておくなど、次につなげようとする姿勢が大切です。

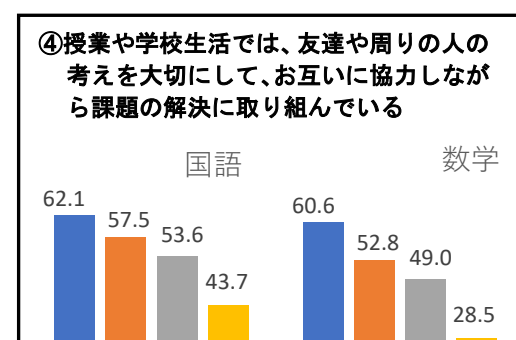
また、問題を解いただけでは、学んだことが身に付いたかどうかはわかりません。自分が解いた問題の答えやその過程が正しいかどうか確認することが大切です。ご家庭では、お子さんがよりよい学び方を身に付けていくよう、励ましの言葉をかけてあげてください。

3 他者との協働による学び

「④授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」では、「当てはまる」と答えた生徒が、「当てはまらない」と答えた生徒に比べ、国語で18.4P、数学では32.1Pと、大きな差があります。

友達など他者の多様な考えを尊重し、相談したり協力したりしながら協働的に学び、課題の解決に取り組むことは、結果として学力の向上に結びつきます。

そして、このことは、単なる国語や数学といった教科の学力の定着にとどまらず、予測困難と言われるこれからの時代を生きる生徒たちが、様々な考えをもった他者と協働して生きていくために必要な資質や能力を伸ばすことにもつながると考えられます。



生徒たちを「優しさ」と「強さ」を 兼ね備えた「愛しい」人に

令和3年度に策定された「焼津市教育大綱」では、これからの時代をたくましく、しなやかに生き、自分らしい人生を輝かせていくため、下枠のような「優しさと強さを兼ね備えた愛しい人」へと成長することを目標としています。

- つまずいても、失敗しても、あるいは壁にぶつかっても、負けないで粘り強く立ち向かう「たくましい強さ」をもった人。
- 時代の変化に対応できる柔軟さ、あるいは苦しい体験や辛い思いをしたときに折れることなく、それらをよい経験としてポジティブに受け止めるなどの「柔軟な強さ」をもった人。
- 他者の立場を理解し認め、他者の考えを受け入れられる優しさをもった人。他者との協調や協働を大切にし、和の心をもった人。

生徒たち一人一人が「優しく、強く、愛しい人」に育っていくためには、つまずきや失敗の経験がとても大切になります。たとえ乗り越えられなくても、挑戦した経験があつてこそ、真の強さや優しさを身に付けることができると思います。

下の表は焼津市教育大綱に関わる質問項目についてまとめたものです。

質 問 事 項	昨年度との比較
① 自分にはよいところがあると思いますか	+4.4
② 人が困っているときは、進んで助けていますか	+5.2
③ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか	+0.4
④ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	+2.3

この4つの項目について、「当てはまる」と「どちらかと言えば当てはまる」の合計が、昨年度と比べて、「① 自分にはよいところがある」は+4.4P、「② 人が困っているときは、進んで助けている」は+5.2P、「③ 人の役に立つ人間になりたいと思う」+0.4P、「④ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」+2.3P と、全ての項目で伸びています。

これは、各学校で教育大綱の理念を柱に学校教育目標や重点目標を立て、教職員が「生徒が、自ら考え判断し行動を起こすことを願って、行事の企画や運営を任せたり、声かけをしたりなどしてきていること」が、成果として表れてきているからだと考えられます。なお、本年度の焼津市学校教育の重点は「失敗や間違いを恐れない子、疑問を言える子」です。

◇ かわいい子には旅をさせよ ◇

学校では、「生徒の言動を決定づけたり、制限したりする教師からの指示は極力控え、たとえ失敗しても生徒が自ら判断し、自ら動き出すように意図的に働きかける指導」を積み重ねよう努めています。

ご家庭では、お子さんが様々な経験ができるよう、支えてほしいと思います。たとえば、それがお子さんにとって苦勞であっても、手や口を出すことを控え、温かく見守りながら励ましてあげてください。合い言葉は、「**かわいい子には、旅をさせよ**」です。

焼津市教育委員会
教育センターみらい
6 3 1 - 4 8 1 1

